

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ		
事業名	羽前小松駅開業100周年カウントダウン”線路は続くプロジェクト”		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ：やまがたまちづくり活動支援事業】		
団体の 所在市町村	川西町	事業費	941,156円
		うち助成金額	900,000円
事業実施期間	令和6年6月13日～令和7年2月28日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

令和8年に開業100周年を迎える羽前小松駅は、3年前の8月に山形県南部を襲った豪雨によって、米坂線は甚大な被害を受け今泉・坂町駅間は不通となっている。メモリアルイヤーを来年に控え、廃線の危惧さえ感じる状況にある米坂線を沿線市町と連携しながら、沿線住民にとって不可欠な交通機関である鉄路を、開業100周年に向けたカウントダウン事業を連続的に行い、まちの元気を創造ながら活性化や創生を実現したいと考えた。本事業は羽前小松駅の開業100周年記念に向けた事業によってまちの元気や米坂線の利活用促進、全線復旧をめざす機運醸成を目的にした。

（実施内容）

1. JR米坂線開業100周年記念事業実行委員会の運営
2. 100周年記念事業のスタートアップとして復旧絆イベント開催
3. うきたむ山手線レールロードプロジェクトの実施
4. 越後米沢街道13峠交流会の開催
5. 伊達三日月街道の旅
6. 羽前小松駅前歩行者天国の実施
7. 全国駅弁まつり米坂線応援イベント参加・・・1回



【写真①復旧絆イベント in 萩生駅】



【写真②復旧絆イベント in 越後下関駅(関川村)】

事業の成果	1. J R米坂線開業100周年記念事業実行委員会の運営、年間2回開催、参加団体・自治体10 2. 100周年記念事業として復旧絆イベント開催、沿線各駅8回開催、参加延べ人数4600人 3. うきたむ山手線レールロードプロジェクトの実施、年間1回、参加人数20人 4. 越後米沢街道13峠交流会の開催、年間1回開催、参加人数40名 5. 伊達三日月街道の旅、年間2回開催、参加人数46人 6. 羽前小松駅前歩行者天国実施、年間2回、参加延べ人数2000人 7. 米坂線応援イベント参加、開催1回（仙台市）参加人数6000人
今後の展望	1. 撮り鉄や乗り鉄などコアな鉄道ファン、写真家、画家との100周年記念事業展開 2. 開業100周年記念イベントの連続開催実現 3. 来年の米沢・今泉間開業100周年、その後は10年後の全線開通100周年まで連続的な事業実施 4. 只見線との連携を含めた全線復旧をめざしたキャンペーン。 5. 米坂線応援ソングや愛唱歌のPRや記念SL走行など、記念イベントの高揚。



【写真③復活絆イベント in 羽前小松駅】



【写真④うきたむ山手線レールロードプロジェクト】



【写真⑤米坂線応援イベント(全国駅弁まつり):仙台】

団体概要

団体名 特定非営利活動法人えき・まち
ネットこまつ

代表者 理事長 江本一男

URL <http://www.npo-ekimachi.org/>

住所 東置賜郡川西町大字上小松1644

電話0238-42-2533 FAX0238-42-2730

Email eki-mn-7@ms5.omn.ne.jp

令和 6 年度山形県N P O活動促進補助事業
収支精算書

事業の名称	羽前小松駅開業100周年カウントダウン”線路は続くプロジェクト”
団体名	特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ

1 収入の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
県補助金	900,000	令和 6 年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入	36,156	寄付
自己資金	5,000	
合計	941,156	

2 支出の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
謝金	509,000	ステージイベント出演謝金
旅費	20,650	イベント出演旅費
印刷製本費	78,400	チラシ作成費
消耗品・材料購入費	72,613	イベント用資材（コンパネ）・コピー用紙など
通信運搬費		
保険料		
使用料	99,960	会場使用料
人件費	135,000	スタッフ賃金
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
飲食費	25, 533	出演者・スタッフ弁当代
合計	941, 156	